

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行します。



「地域学校協働活動事業活動調査」結果報告

先日は、大変お忙しい中、各校における地域学校協働活動事業の活動状況を把握し、さらなる地域と学校の連携・協働の推進を図るために実施した「地域学校協働活動事業活動調査」にご協力いただき、誠にありがとうございました。調査結果についてご報告いたします。

① 学校運営協議会について

「設置校」 学校運営協議会を進めていく上での課題は？（2つまで回答可）

項目名	%
1 教職員、保護者、地域への学校運営協議会の周知	31
2 協議内容の充実	71
3 学校運営協議会からの情報発信	38
4 委員選出、委員の後継者の確保	30
5 その他	4

設置校のうち、各項目にチェックを入れた学校の割合を示している

「協議内容の充実」をあげた学校が目立ちました。協議内容の充実のためには、協議内容の焦点をしぼると良いかもしれません。例えば、学校の課題を解決するための協議の中でも、ある行事の実施時期を変更するための協議、高学年の国語と算数の学習補助に必要な人材確保のための協議 などにしぼると話がぶれずに、解決策を見出すことが可能となります。

「未設置校」 学校運営協議会を設置していく上での課題は？（2つまで回答可）

項目名	%
1 教職員、保護者、地域への学校運営協議会の周知	15
2 委員選出	70
3 地域との調整	50
4 近隣校との調整	32
5 その他	4

未設置校のうち、各項目にチェックを入れた学校の割合を示している

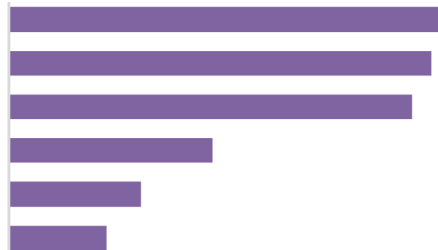
「委員の選出」が、未設置校にとって最大の課題です。委員にふさわしい方がいないケースと、たくさんすぎるケースがあるようです。また、委員の中で「学識経験者」が見つけれないといった相談も寄せられることがあります。困ったときは、すぐに声をかけてください。一緒に考えて参ります。

② 学校・地域コーディネーターについて

「配置校」 学校・地域コーディネーターがいることでの効果は？（3つまで回答可）

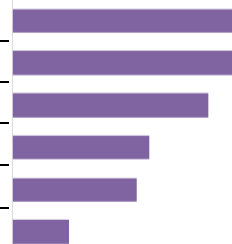
項目名	%
1 学校に対する理解の深まり	63%
2 円滑な学校運営や特色ある学校づくりの推進	61%
3 児童生徒の様々な体験や経験の場の増加	59%
4 児童生徒の地域への理解や関心の高まり	30%
5 児童生徒の学習意欲や学力の向上	19%
6 教師の教材研究や子どもと向き合う時間の確保	14%

配置校のうち、各項目にチェックを入れた学校の割合を示している



「配置校」 地域学校協働活動を進めていく上での課題は？（3つまで回答可）

項目名	%
1 地域や保護者、教職員への周知が不十分	41%
2 ボランティアの不足	40%
3 予算が少ない(謝金)	36%
4 コーディネーターの不足	25%
5 予算が少ないための活動内容や時間の制限	23%
6 学校とコーディネーターで目標が共有されていない	10%



「未配置校」 学校・地域コーディネーターを配置するにあたっての課題は？（3つまで回答可）

項目名	%
1 ふさわしい人材が見つからない	71%
2 学校・地域コーディネーターの地域への周知不足	59%
3 学校・地域コーディネーターの教職員の周知不足	45%
4 予算不足のため活動内容や時間に制限がある	19%
5 謝金等の予算が少ない	18%
6 地域の方が集まれる場所がない	18%

未配置校のうち、各項目にチェックを入れた学校の割合を示している

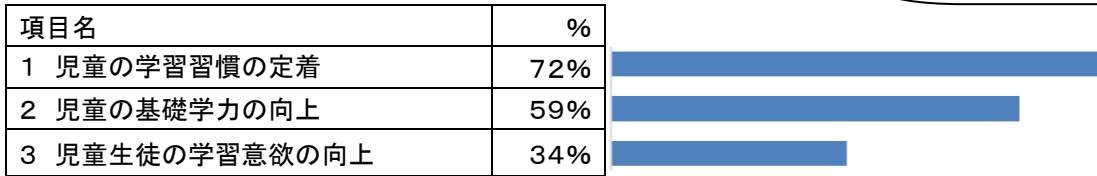


- 学校・地域コーディネーター配置校においては、すべての学校で何らかの効果を感じています。
- 配置校のうち、6割近くの学校は「学校に対する理解の深まり」「円滑な学校運営や特色ある学校づくりの推進」「児童生徒の様々な体験や経験の場の増加」を効果として挙げています。
- 配置校における主な課題は「周知が不十分」「ボランティア不足」「予算不足」、未配置校の主な課題は「ふさわしい人材不足」「周知不足」「予算不足」が挙げられました。
- ◎今後は、地域や教職員への学校・地域コーディネーターの周知（役割や意義、効果等）に、より一層努めていきたいと思ひます。

③ 放課後学び場事業について

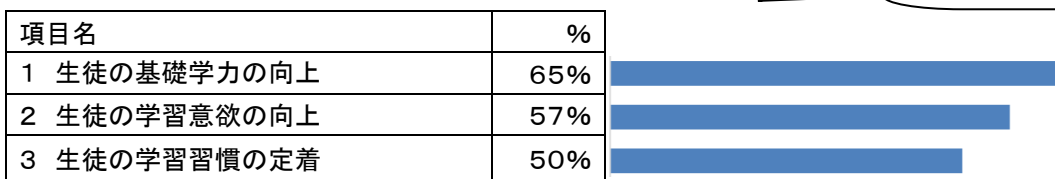
「小学校 実施校」実施した成果は？（2つまで回答可）

小学校実施校のうち、各項目にチェックを入れた学校の割合を示している

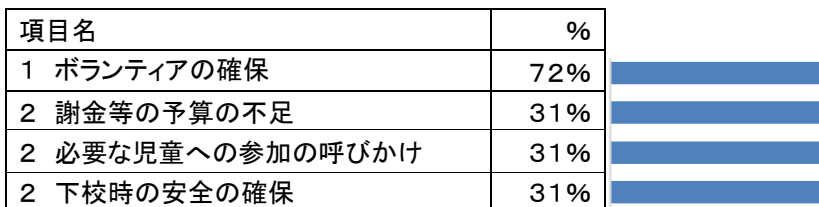


「中学校 実施校」実施した成果は？（2つまで回答可）

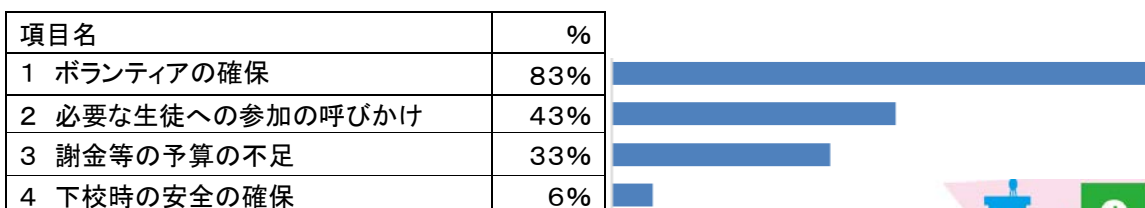
中学校実施校のうち、各項目にチェックを入れた学校の割合を示している



「小学校 実施校」実施する上での課題は？（2つまで回答可）



「中学校 実施校」実施する上での課題は？（2つまで回答可）



「小学校 未実施校」申請をしていない理由は？（3つまで回答可）

項目名	%
1 下校時の安全確保が心配	43%
2 ボランティアが見つからない	35%
3 活動する時間がとれない	30%
4 児童のニーズがない	29%
5 活動する場所がない	24%

小学校未実施校のうち、各項目にチェックを入れた学校の割合を示している

「中学校 未実施校」申請をしていない理由は？（3つまで回答可）

項目名	%
1 ボランティアが見つからない	75%
2 活動する時間がとれない	34%
3 生徒のニーズがない	27%
4 活動する場所がない	14%
5 謝金等の予算が少ない	12%

中学校実施校のうち、各項目にチェックを入れた学校の割合を示している

- 小学校、中学校ともに、実施校においては、放課後学び場事業の成果を感じています。
- 実施校、未実施校どちらにおいても、ボランティアの確保や予算の不足が大きな課題となっています。また、小学校においては、下校時の安全の確保も、大きな課題です。
- ◎今後は、児童生徒のニーズのある学校に、着実に予算配当をしていけるように、本事業を進めていきたいと思っております。

「Yokohama 地域学校協働活動フォーラム」開催のお知らせ

<日時> 令和元年9月19日（木） 花咲研修室2階（研修会） 3階（見本市、交流会）
 ◇13：00～ 地域の方々の研修会 ◇14：30～ 見本市 ◇16：00～ 交流会

<主な内容>

- 教育支援団体の出展形式による見本市
- 教職員、地域の方々、教育支援団体等による交流会

学校便利帳で、令和元年7月18日（教小企第1468号）及び令和元年7月24日（教学第566号）に募集案内を発出しています。どうぞご確認ください。

☆教職員の方々だけでなく、学校・地域コーディネーターや地域協力者の方々にも、ぜひ周知をお願いします！！